

X-ColorQC



基本操作の手引き



目次

概要	3
セットアップ	4
システム条件	4
ソフトウェアのインストール	4
機器の接続	5
一般操作	6
アプリケーションの起動	6
機器の選択	7
正しい測定テクニック	8
ソフトウェアの登録	8
X-Color QC ツール	10
QC タブボタン	10
ジョブタブ ボタン	11
レポートタブ ボタン	11
X-Rite ボタンメニュー	11
ヘルプの活用	12
ヘルプトピックの検索	12
ヘルプトピックの印刷	13
さらなるヘルプの取得	13
テクニカルサポート	14
連絡先	14
FAQ	15
付録A：エンタープライズ版	17
Oracle の設定	17
MySQL の設定	18
MS SQL の設定	18

Copyright © 2010 by X-Rite, Incorporated

“ALL RIGHTS RESERVED”

X-Rite®共に X-Color QC™は、X-Rite, Incorporated の登録商標です。その他のロゴ、商標、製品名は、各所有者の商標です。

エクスライト社のカラービデオ再現は、ペタ濃度基準に正しく一致するものではありません。正しい色を確保するには、PANTONE®* Color Reference Manuals などの実際のサンプルをご使用ください。

概要

エクスライト社の X-Color QC ソフトウェアを使用すると、世界中の工場からカラー管理データに素早くアクセスすることができます。塗料、プラスチック、印刷、包装、自動車、塗装、インキ、テキスタイル業界の特定のニーズに対応します。

ラボや生産ラインにおいて、精度、能率性、簡易性、イノベーションを発揮するカラー管理能力を提供します。

基準色の許容値を編集、日付タグでサンプルを削除、さらにタグを追加・削除することができます。自動アーカイブ機能は全ての旧データを保存し、基準色を呼び出した際にサンプル履歴を表示できるようになります。



セットアップ

システム条件

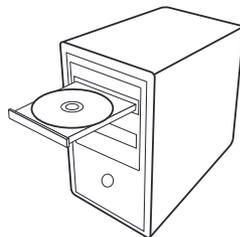
- OS - Microsoft Windows XP Professional (サービスパック 3)、Windows Vista Business または Windows 7 Professional。
- x86 タイプのプロセッサ (Intel Pentium III、Intel Pentium IV、AMD Athlon 等)
- 2 GB 以上の RAM
- 32 MB のグラフィックメモリ、最低 1024 x 768 の解像度 (1280 x 1024 推奨)

ソフトウェアのインストール

X-Color QC をお買い求めになる際、スタンドアロン版、複数ユーザー対象のマルチユーザー版、またはエンタープライズ版からお選びいただけます。

注記：エンタープライズ版をインストールする際は、付録Aよりサポートされるデータベースの設定をご覧ください。X-Color QC エンタープライズ版のソフトウェアをインストールする前に、必ず説明手順に従ってデータベースを設定してください。

1. X-Color QC の CD をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入し、[Software Install] ボタンをクリックしてインストーラにアクセスしてください。アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。Windows Vista または Windows 7 には、インストールアイコンを右クリックし、[管理者として実行] を選択します。

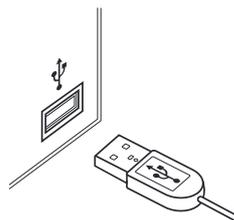


2. セットアップのプログラムでインストール手順が表示されます。セットアップの各画面に表示される指示に従ってインストールを完了します。
3. アプリケーションを起動し、アクセス許可設定およびデータのロード等の設定を必要に応じて行います。設定を適切に行うことによって、ユーザーはシステムにアクセスできるようになります。インストール時にアプリケーションのライセンスを行わず、Windows Vista または Windows 7 を使用する場合は、アプリケーションのショートカットを右クリックし、ライセンスを行うまでは [管理者として実行] を選択してください。

機器の接続

重要：シリアル COM ポートを使用する機器を接続する前に、必ずコンピュータの電源を切ってください。

1. COM ポートあるいは USB ポートを通して機器をコンピュータに接続します。接続は、使用する機器のタイプによって異なります。機器を正しく接続するためには、機器に付属する説明書をご参照ください。
2. 必要であればコンピュータの電源を入れます。



アプリケーションの起動



X-Color QC

エックスライト社の X-Color QC がインストールされたら、アイコンをダブルクリックしてプログラムを開始します。Windows Vista または Windows 7 上において、インストール時にアプリケーションが登録されなかった場合、プログラムアイコンを右クリックし、アプリケーションのライセンスが行われるまで [管理者として実行] を選択してください。

ソフトウェアの登録画面が表示されます（ライセンスされていない場合）。この時点でソフトウェアの製品登録を行うか、[続行] をクリックすることによって登録を後で行うことができます。X-Color QC は評価モード（未登録状態）で 30 日間使用することが可能ですが、製品はなるべくお早めに登録してください。エックスライト社にソフトウェアを登録するには、本セクションの [ソフトウェアの登録] をご覧ください。



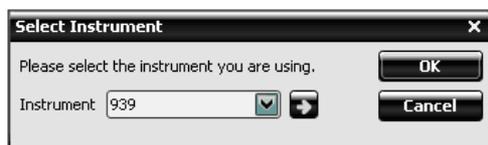
注記：お買い求めになった製品パッケージによって、登録後にログイン画面が表示されるものがあります。[ユーザーID] フィールドをクリックし、複数ユーザー用システムのユーザーID とパスワードを入力してください。エンタープライズ版にはホスト IP も必要です。この画面では、ソフトウェアの表示言語を変更することもできます。



X-Color QC ソフトウェアの管理者の既定パスワードは「password」です。

ログインの後、[OK] をクリックして続行します。

機種を選択して、[OK] をクリックして続行します。



この作業は、ソフトウェアを初めて起動した時のみに一度だけ行います。

X-Color QC アシスタントが表示されます。この画面では、アプリケーションで良く使用される機能のショートカットが表示されます。ボタンをクリックして使用したい機能を開始します。アプリケーションを終了するには、[終了] ボタン (X) を選択します。



[ジョブを実行] および [ジョブのダウンロード] ボタンは、ジョブが存在する場合のみ表示されます。

アプリケーションの起動時にこの画面を表示させない場合は、[起動時にアシスタントを表示する] のボックスからチェックを外します。これで、プログラムの起動後にアプリケーションのメインスクリーンが表示されるようになります。X-Color QC アシスタント機能は、システム設定ダイアログで [起動時にガイドを表示する] にチェックを入れて元に戻すことが可能です。

機器の選択

アプリケーションが起動されたら、機器の種類および使用する接続方法を選択する必要があります。

1. アプリケーション上部の QC ツールタブから [機器のオプション] をクリックします。
2. リストから機器を選択します。機器のボタンが選択された機器に変わります。
3. 機器のアイコンを再度選択し、リストから [設定...] をクリックします。
4. [シリアルポート] リストから、使用する COM ポートを選択してください。(使用可能な場合) その他の使用可能なオプション (現在の光源/視野、音声インジケータ) もここで設定することが可能です。
5. [OK] をクリックして選択を保存し、[設定] ダイアログを終了します。



正しい測定テクニック

X-Color QC の使用において、正しく測定を行うことは、正確なカラーデータを得るために大切なことです。カラーデータの結果は実際の測定を反映するものです。最も正確な測定データを得るためには、下記の点に注意して測定を行ってください。

- **最適な測定エリアを選択**：傷のないエリアで色を正しく表す部位を見つけてください。
- **機器の設定**：測定中は、機器を測定表面に対して平らにセットしてください。
- **機器を動かさない**：測定中は、機器およびサンプルを動かさないようにしてください。
- **機器の説明書を参照**：機器の使用・管理については、機器に付属する使用説明書をご参照ください。

機器の測定手順に従うことは正確な測定のために大切なことです。

ソフトウェアの登録

1. インストール時にアプリケーションのライセンスを行わず、Windows Vista または Windows 7 を使用する場合は、プログラムアイコンを右クリックし、[管理者として実行] を選択してアプリケーションを開始してください。アプリケーションがすでに起動されている場合は、アプリケーション左上メニューから X-Rite ボタンをクリックして、[ライセンス] を選択して登録画面にアクセスします。
- 
2. ソフトウェアに記載される X-Color QC の AUI 番号を探します。また、X-Color QC ライセンスのダイアログ下に表示される登録コード番号も記録してください。
 3. オンライン登録を行う場合は、リンク先をクリックしてください。リンクをクリックすると、製品名 (X-Color QC) およびソフトウェアのバージョン番号を選択するエクスライト社の製品登録ページに進みます。登録コードおよび AUI 番号を入力します。AUI 番号は CD ケースに記載されています。
 4. 終了後、ソフトウェアを登録するライセンスキー番号が表示されます。E メールアドレスを入力した場合、ライセンスキー番号は E メールでも送信されます。



5. [ライセンスキー] フィールドにライセンスキー番号を入力し、[ライセンス] をクリックします。これでソフトウェアがライセンスされ、システムの起動時にライセンス画面が表示されなくなります。

X-Color QC ツール

X-Color QC ツールはアプリケーション上部に表示されます。ツールタブを選択すると、そのツールの専用ボタンが表示されます。各ツールタブの説明は以下の通りです。ツールや手順のより詳しい説明はシステムのオンラインヘルプをご覧ください。

QC タブボタン



機器オプション：接続された機種を選択、キャリブレーションのアクセス、機能の設定を行います。



サンプルの作成：サンプルを測定する、または別の入力方法を選択することによりサンプルデータを作成します。



基準色の作成：基準色を測定する、または別の入力方法を選択することにより基準色データを作成します。



クイック比較：データと基準色とを関連付けずに複数のサンプルを比較します。



マスターパネル：メーカー/ユーザーへ基準色を送信する前に分類しておく複数の印刷物/パネルを作成します。



グローバル許容値：基準色の作成時に選択しやすい許容値をあらかじめ作成、編集、削除します。



サンプルフィルタ：サンプルフィルタを作成、編集、削除します。一度フィルタが作成されたら、特定のフィルタを選択する際にも使用します。
(例：今日のデータ、今月のデータ等)



タグ：テキストタグ、数値タグ、タグカテゴリを作成、編集、削除します。



光源/視野：全ての表示に現れる光源/視野を選択します。



角度選択：多角度分光測色器で表示される角度データ、または積分球の機器で表示される正反射光を含む・含まない (SPIN・SPEX) データを選択します。



表示：表示されるウィンドウ数を選択し、カスタム表示セットを作成します。



レポート：生成されたレポートの種類を選択します。



ジョブ：ジョブ手順を実行、機器に基準色を送信、機器からサンプルを取得します。

ジョブタブ ボタン



新規ジョブ：新規ジョブを作成します。



ジョブの編集：既存のジョブを編集します。



ジョブの保存：新規ジョブや既存ジョブに対する変更を保存します。



ジョブの削除：保存されたジョブを削除します。



ジョブの実行：ワークフローを検証するために、現在選択されているジョブを実行します。



ジョブ分析：現在のジョブデータを表示します。

レポートタブ ボタン



新規レポート：新しいレポートを作成します。



レポートの編集：既存のレポートを編集します。



レポートの保存：新規レポートや既存レポートに対する変更を保存します。



レポートの削除：レポートを削除します。



レポートの実行：現在のレポートを実行します。

X-Rite ボタンメニュー



システム設定、パスワード変更、データ読み込み/書き出しオプション、ライセンス画面、印刷画面、バージョン情報、アプリケーションの終了にアクセスします。

ヘルプの活用

X-Color QC ソフトウェアをご使用の際は、ヘルプシステムを是非ご活用ください。ヘルプシステムには、特定の作業に対する手順、コンセプト、参考データ、用語集が含まれます。目次、キーワード、検索機能を使用してトピックを探し出します。

ヘルプシステムは Web ページと同じテクノロジーを採用しており、関連トピック、定義、詳細情報のリンクに青の下線が付いています。このリンクをクリックして、ヘルプシステム内の他のトピックに進みます。

ヘルプトピックの検索

目次、キーワード、検索ボタンを使用してトピックを探し出します。それぞれのボタンは異なる方法で情報を検索します。

1. X-Color QC ソフトウェアからは、左上のヘルプアイコンをクリックしてヘルプシステムを開きます。
2. トピックをカテゴリ別に参照する場合は、[目次] ボタンをクリックします。



矢印アイコン  で表示されるトピックは、 のアイコンで示されるチャプター内で分類されています。プラス記号のアイコンをクリックすると、目次が展開されます。マイナス記号のアイコン  は、チャプターが展開された状態を表します。表示するトピックをクリックすると、選択されたトピックがウィンドウ右側のフレーム内に開きます。

3. キーワードのリストを表示するには、[キーワード] ボタンをクリックします。
キーワードには、ヘルプシステムのトピックが含まれます。テキストボックス内で、用語を検索するか、またはリストから選択します。最初に一致するキーワードに自動的に飛びます。スクロールして、他に一致するキーワードを参照します。表示したいキーワードをクリックすると、選択されたキーワードが、ウィンドウ右側のフレームに開きます。
4. ヘルプシステム全体を検索するには、[検索] ボタンをクリックします。

テキストボックスに、検索する用語を入力します。[検索開始] をクリックして検索を開始します。入力された用語が文章に含まれる全てのトピックが検索され、一致する全てのトピックがリストに表示されます。表示したいトピックをクリックすると、選択されたトピックが、ウィンドウ右側のフレームに開きます。

ヘルプトピックの印刷

現在のヘルプトピックを印刷するには、ツールバーから [印刷] をクリックします。
(トピック内で右クリックし、ショートカットメニューから [印刷] をクリックすることも可能です。)

さらなるヘルプの取得

ツールバーから [詳細] をクリックすると、エックスライト社のウェブサイトにある [サポート] ページが開きます。ここでは、製品のダウンロードやヘルプデスクの Q&A を参照することができます。

テクニカルサポート

ご使用で何かお困りの際は、ご購入いただいた販売店様へお問合せいただくか、弊社までご連絡下さい。その際に、以下のような情報を一緒にご連絡いただけると大変助かります。

- オペレーティングシステム（サービスパックのバージョン含む）
- アプリケーションのバージョン
- 御社名と担当者名ならびに、連絡先番号
- エラーの内容又は、エラーメッセージ
- エラーが起きたときの状況

連絡先

エックスライト株式会社

〒141-0031

東京都品川区西五反田 2-30-4 BR 五反田 7F

Tel : 03-6825-1641 Fax : 03-5436-1616

FAQ

下記は、X-Color QC のいくつかの FAQ を説明しています。その他の FAQ およびサポート情報は、www.xrite.com をご参照ください。

1. ソフトウェアのライセンスはどのように行えばいいですか？

インストール後、30 日以内にソフトウェアを登録してください。登録時は、ソフトウェアの AUI 番号と登録コードが必要です。AUI は CD ケースに記載されています。アップグレードを購入された場合は、古い登録コードが必要です。登録コードは、ソフトウェアを起動した時に表示される 8 桁の番号です。X-Rite メニューボタンをクリックして、[ライセンス] を選択して表示することもできます。この情報でオンライン登録を行ってください。ライセンスキーを取得後、[ライセンスキー] フィールドに入力して [ライセンス] をクリックします。

2. 評価用ソフトをインストールしたばかりなのですが、評価期間が終了したと表示されます。どうしてですか？

X-Color QC をインストールするには、コンピュータの管理者である必要があります。管理者にお問い合わせください。PC の管理者であっても、インストール時にアプリケーションのライセンスを行わずに Windows Vista または Windows 7 で使用する場合は、必ずアプリケーションのショートカットを右クリックし、ライセンスを行うまで [管理者として実行] を選択してください。

3. X-Color QC ソフトウェアの既定のパスワードは何ですか？

X-Color QC ソフトウェアの既定のパスワードは「password」です。

4. 古いソフトウェアのファイルを新しいソフトウェアにどのように転送するのですか？

QA-Master、Paint Master、Plastic Master、Textile Master、Ink Master 1.x 等の、マスターシリーズの旧プログラムをお持ちの場合、インストール CD にある Database Export Utility (データベース書き出しユーティリティ) を使用します。Database Export Utility のチュートリアルは、http://www.xrite.com/top_support.aspx でご覧いただけます。QA-2000、Formulation Master 2001、X-RiteColor Master (全バージョン) をお使いの場合は、プログラムのメインメニューから [データベース] → [基準色を検索] を選択してください。[基準色を検索] ダイアログが開いたら、[検索] ボタンをクリックして [基準色の検索定義] ダイアログを開きます。既定定義の「全て」を選択し、[検索] ボタンをクリックします。[全てを選択] クリックした後、[転送] ボタンをクリックします。フィルタが「全てのサンプル」に設定されていることを確認し、

XTF ファイルを希望する場所に保存します。この作業が終了したら、X-Rite ロゴボタン下の [取り込み] 機能を使用してデータを読み込みます。

5. **機器との通信がありません。別の COM ポートはどのように選択すればいいですか？**

別の COM ポートを選択するには、[機器]  -> [設定] -> [シリアルポート] をクリックします。

6. **機器のキャリブレーションはどのように行いますか？**

機器のキャリブレーションを実行するには、[機器]  -> [キャリブレーション] をクリックして手順に従います。詳しくは、機器の使用説明書をご参照ください。

7. **さらに詳しい情報はどこで取得できますか？**

ヘルプファイル内で  のアイコンをクリックし、[内容] をクリックするか、または www.xite.com をご参照ください。

付録A：エンタープライズ版

エンタープライズ版を使用する際は、データベースの設定に関する次の説明をご覧ください。

注記：この手順は、Xcolorqc データベースを正しく作成するために非常に重要で、必ず X-Color QC エンタープライズ版のソフトウェアをインストールする前に実行してください。

Oracle の設定

1. Oracle Database Configuration Assistant を起動します。
2. 手順 2 の [Create Database] を選択します。
3. 手順 2 の [General Purpose] を選択します。
4. 手順 4 の [Global Database Name] フィールドに、ドメイン情報と共に「xcolorqc」を入力します。
5. 手順 4 で SID に「xcolorqc」が入力されていることを確認してください。
6. 環境のニーズに応じた既定値またはカスタマイズ値を選択しながら、手順 9 まで進みます。
7. 手順 9/Database Content の [Custom Scripts] を選択します。[Run the following scripts] をクリックした後、[Add] をクリックし、X-Color QC ソフトウェアに付属する「Oracleinit.sql」スクリプトをファイルに選択します。
8. 環境のニーズに応じた既定値またはカスタマイズ値を選択しながら、手順 12 まで進みます。
9. [Create Database] のチェックボックスにチェックが入っており、名前フィールドに「xcolorqc」値が入力されていることを確認してください。
10. [Finish] → [OK] をクリックして、データベース作成を開始します。
11. [Oracle Enterprise Manager] にログオンし、xcolorqc の新規データベースに接続します。
12. [Administration] セクションで「xcolorqc」ユーザーを開き、[CONNECT] の役割が割り当てられていること、およびシステムの特権に [CREATE SEQUENCE] と [CREATE TABLE] が設定されていることを確認してください。
13. 以上の手順が正しく完了したあと、X-Color QC エンタープライズ版を Windows にインストールしてください。

MySQL の設定

1. 「ルート」にする MySQL サーバーにツール（SQLyog、Toad、MySQL Query Browser 等）を使用して接続します。
2. X-Color QC エンタープライズ版のソフトウェアに付属する「MySQLInit.sql」スクリプトを実行してください。
3. 「xcolorqc」データベースが作成されたことを確認してください。
4. さらに「xcolorqc」ユーザーが作成されたことを確認します。

注記：X-Color QC エンタープライズ版をインストールする際の設定条件により（X-Color QC エンタープライズ版を作動するサーバーハードウェアは、同じハードウェア上に MySQL が含まれる、あるいは別のハードウェアサーバー層に存在することがあります。）、「xcolorqc」ユーザーは、どんな任意ホストからでも「localhost」およびワイルドカードの「%」アクセスに初期設定されます。X-Color QC エンタープライズ版のアプリケーションが実行されており、MySQL がセキュリティのためみに適切なホスト名に基づいたが別の層みにある場合、DBAs は「%」のワイルドカード設定を制限する必要があります。

MS SQL の設定

1. 希望する Microsoft SQL 2005 サーバーに Windows 認証の管理者ユーザーとして接続するか、または SQL サーバー認証を使用して「SA」として接続します。
2. X-Color QC エンタープライズ版のソフトウェアバンドルに付属する「MSSQLInit.sql」スクリプトを実行してください。
3. 「xcolorqc」データベースが作成されたことを確認してください。
4. 「xcolorqc」ログインが作成されたことを確認します。セキュリティ/ログイン内で、「xcolorqc」ログインを選択します。次にプロパティ/ユーザーの割り当てを選択し、ログインが「xcolorqc」に割り当てられ、「db owner」データベース役割のメンバーシップが割り当てられていることを確認してください。
5. さらに「xcolorqc」ユーザーが作成されたことを確認します。サーバーデータベースのリストから「xcolorqc」データベースを選択します。プロパティ/一般で、「db owner」役割メンバーが「xcolorqc」ユーザーとしてチェックが入っていることを確認してください。



エックスライト株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-30-4 BR 五反田 7F

Tel (03) 6825-1641

Fax (03) 5436-1616

エックスライト社 米国本社

米国ミシガン州グランドラピッズ

Tel (+1) 616 803 2100

Fax (+1) 616 803 2705

エックスライト社 ヨーロッパ

スイス レーゲンスドルフ

Tel (+41) 44 842 24 00

Fax (+41) 44 842 22 22

各地域のお問い合わせ先は www.xrite.com でご覧いただけます。